

CONTENTS

ビジュアルヘルプ – AppendToGraph	2
AppendToGraph コマンドのヘルプ	2

ビジュアルヘルプ – AppendToGraph

AppendToGraph コマンド（グラフのウェーブを追加）は、メニュー Graph → Append Traces to Graph または Append To Graph を選択して、ダイアログでも操作できます。
ここではダイアログと対比して説明します。

AppendToGraph コマンドのヘルプ

AppendToGraph [/W=winName /B[=axisName] /C=(r,g,b[,a]) /L[=axisName] /NCAT/Q/R
[=axisName] /T[=axisName]/VERT] waveName [, waveName] ... [vs xwaveName]

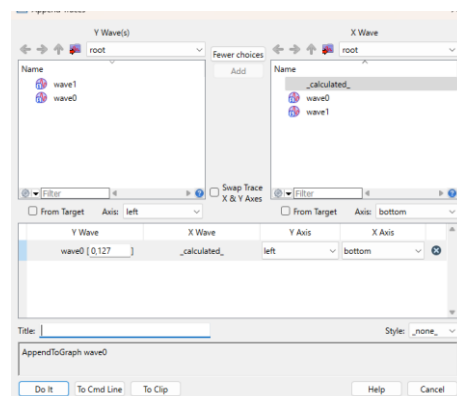
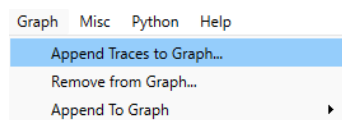
AppendToGraph コマンドは、指定したウェーブを、ターゲットまたは指定したグラフにトレースとして追加します。

デフォルトでは、トレースは左軸と下軸に対してプロットされます。

パラメーター

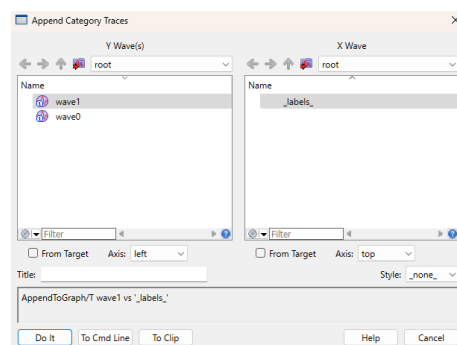
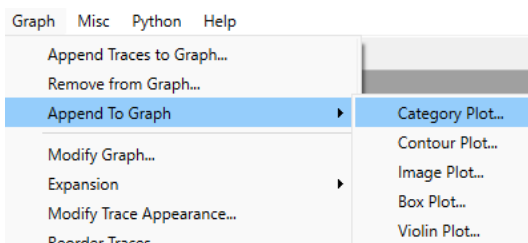
waveName は、既存のウェーブの名前です。

vs xwaveName は、waveNames のデータ値を xwaveName のデータ値に対してプロットするように Igor に指示します。
指定しないと、waveName のデータ値は、waveName の X スケールから導出された計算された X 値（_calculated_）に対してプロットされます。



既存のカテゴリプロットに新しいトレースを追加する場合、xwaveName は、プロットの X 軸をコントロールしているものと同一である必要があります。

既存の X 軸が Y ウェーブのディメンションラベルを使っている場合、「_labels_」キーワードを使うと、xwaveName は「_labels_」に設定する必要があります。



異なる X 軸を使って新しいカテゴリプロットを追加する場合、xwaveName は任意の適切なテキストウェーブを参照するか、Y ウェーブのディメンションラベルを使うには「_labels_」と指定します。

サブレンジ（一部）表示構文を使って、マトリックス内の個々の行や列など、データのサブセットを指定することができます。

ウェーブ名の指定に /TN=traceName を追加することで、トレースにカスタム名を付けることができます。

これは、同じ名前で異なるデータフォルダーにあるウェーブを表示する場合に便利です。

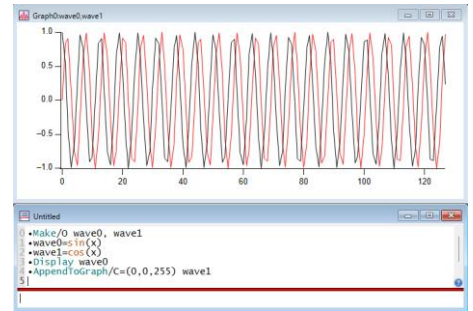
詳細については、ヘルプ Trace Name Parameters を参照してください。

フラグ

/B[=axisName] X 座標を標準または名前の付いた下軸に対してプロットします。

/C=(r,g,b[,a]) 追加されるトレースの色を設定します。
r、g、b、および a は、RGBA 値として色とオプションの不透明度を指定します。

```
Make/O wave0, wave1
wave0=sin(x)
wave1=cos(x)
Display wave0
AppendToGraph/C=(0,0,255) wave1
```



/L[=axisName] Y 座標を標準または名前の付いた左軸に対してプロットします。

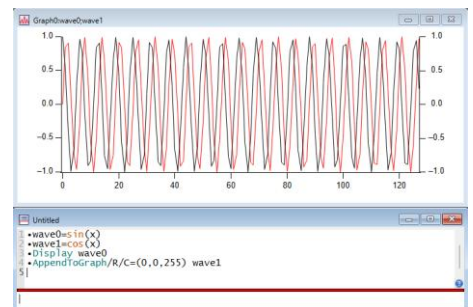
/NCAT カテゴリプロットにトレースを通常どおりプロットします。
X 値はカテゴリ番号のみですが、小数でもかまいません。
カテゴリ番号は 0 から始まります。
これは、ボックスプロットに元のデータポイントをオーバーレイするために使用できます。

詳細は、ヘルプ Combining Numeric and Category Traces を参照してください。

/Q 既存の軸のペアに追加する場合、特別なクイック更新モードが使われます。
このモードの副作用として、追加されたウェーブは変更されていないものとしてマークされます。
これにより、これらのウェーブを含む他のグラフが正しく更新されないことを防ぎます。

/R[=axisName] Y 座標を標準の右軸または名前付き右軸に対してプロットします。

```
Make/O wave0, wave1
wave0=sin(x)
wave1=cos(x)
Display wave0
AppendToGraph/R/C=(0,0,255) wave1
```

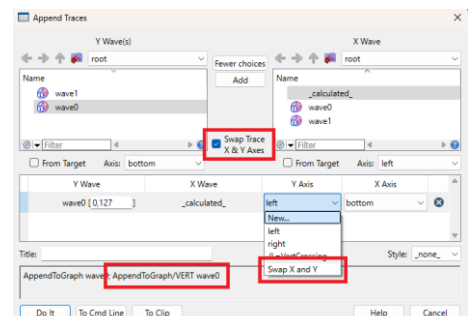


/T[=axisName] X 座標を標準の上軸または名前付き上軸に対してプロットします。

/TN=traceName

トレースにカスタム名をつけることができます。
これは、同じ名前で異なるデータフォルダーにあるウェーブを表示する場合に便利です。
詳細については、ヘルプ User-Defined Trace Names を参照してください。

/VERT データを縦方向にプロットします。
SwapXY (ModifyGraph) と似ていますが、トレースごとに処理されます。



`/W=winName` 指定したグラフウィンドウまたはサブウィンドウに追加します。
省略した場合、操作はアクティブなウィンドウまたはサブウィンドウに影響します。
Proc、マクロ、またはコマンドラインで使う場合、これは最初に指定するフラグでなければなりません。

`winName` でサブウィンドウを特定する時、ウィンドウ階層の構成に関する詳細については、ヘルプ `Subwindow Syntax` を参照してください。

参照

ヘルプ `Display`、コマンド